

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日

R7.6.9

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	弘前市清水交流センター
施設の設置目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいをづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るため。
所在地	弘前市大字大開二丁目1番地2
指定管理者名	清水交流センター管理運営委員会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
1 事業計画の実施状況 施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。	
2 自主事業の実施状況 「わ」になって踊ろう～盆踊り♪パート2などほか2件実施した。	
3 市民サービス向上のための取組状況 各部屋の事前準備と特に使用後は各部屋を確認し、忘れ物などがないか点検を実施している。また、利用者へ明るく声掛けし、利用者が気持ちよく過ごすことが出来るよう心掛けている。	
4 市民ニーズの把握の実施状況 アンケート調査により利用者からの意見、希望を把握し、施設管理、運営に反映できないか検討している。	
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など） 令和6年度の利用許可件数は2,997件、利用者数は29,781人となっており、利用者数は前年度を上回る数値となっている。 （参考：令和5年度 利用許可件数 3,102件、利用者数 28,797人）	
6 指定管理業務の収支状況 施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	

7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

8 成果指標の達成度

利用件数: 目標 2,935件 実績 2,997件 達成度 102.1%
 利用者数: 目標37,006人 実績 29,781人 達成度 80.4%
 満足度: 目標 90% 実績 80% 達成度 88.8%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評 価 の 説 明	今後の課題と対応
施設の運営	B	計画に基づいて事業の実施、又経費節減に努めている。利用者要望にはできるだけ応えるように工夫している。アンケート回答についても、できるだけ要望に答えるようにしている。	利用者へのサービス向上・自主事業の実施及び利用者の増加に努めていく。又、利用者への対応マナーの向上に努め、且つ快適に利用して頂く。利用者からのアンケート結果を真摯に受け止め「自己修正」を図り、職員一同努力をする。
施設の管理	B	経費を節約し、トイレの換気扇・手洗い・トイレタンクの修繕費へ計上した。サワラの剪定(職員)も行いました。又、藤棚下ベンチの腐食部分も(職員)が修繕をした。草刈等施設の環境美化(花壇等)にも常に取り組んでいる。、開館前、閉館時の館内見回り、清掃・施錠は2名でダブル確認をしている。	設備の修繕や備品などについて、担当課と協議しながら進めていく。
経理の状況	A	毎月の収支は確実に執行できている。	予算執行の把握をより強めていく。
団体の財務状況	B	特に無し。	特に無し。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評 価 の 説 明	今後の課題と対応
施設の運営	B	アンケート実施により、利用者の意見、要望の把握に努めた。また、自主事業を実施し、施設の周知、利用者増加を図った。	今後も基本的なサービス向上を図るためのアンケートの実施、利用者増加を図るための魅力的な自主事業の実施に期待する。
施設の管理	A	開館前の清掃及び見回り、閉館時の館内見回り・施錠の複数人での確認を実施している。またストーブの掃除など、施設設備の保守に努めている。	今後も利用者の安全のため、設備の保守、適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評 価 の 視 点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する